

# 『ひとはなぜ裁きたがるのか』

## —判定の記号論—

(叢書セミオトポス7)  
日本記号学会 編

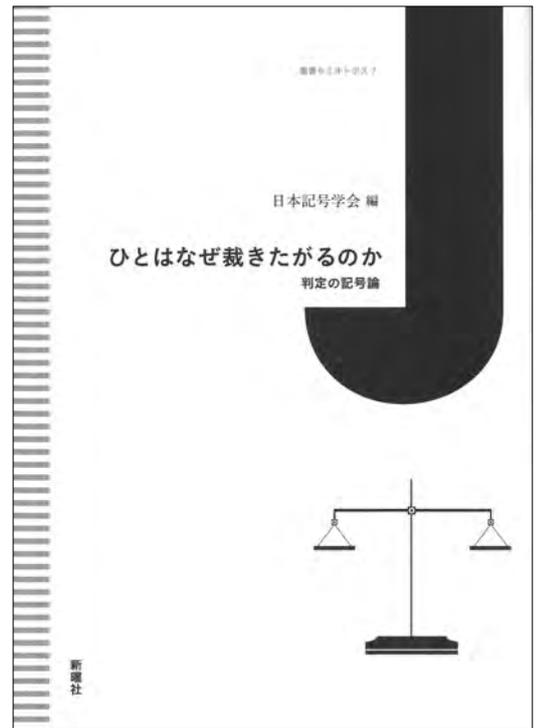
### 判定のスペクタクル化!?

裁判員制度の導入にともなう法廷の劇場化、スポーツにおけるサイボーグ化・映像判定、テクノロジーの発達にともなう生死の判定、そして震災・原発事故のあとの判定(判断)ミスなど、いまやひとはいたるところで判定し判定される状況に立たされている。判定とは何か、変容する判定を、記号論的アプローチを駆使して多面的・根源的に問う。

今号(叢書セミオトポス7号)より、日本記号学会の機関誌の刊行をお引き受けすることになりました。たいへん厳しい出版状況ではありますが、常に社会の動向に鋭い批判的視点を提示してこられた歴史ある学会誌の刊行をお手伝いできますことは、たいへん光栄です。よろしくお願い申し上げます。(新曜社編集部)

A5判並製244頁 定価3024円(本体2800円+税)

\*送料はサービス



#### ■主な内容紹介

ひとはなぜ裁きたがるのか

前川 修

#### I 判定の思想をめぐって

判定の思想——「最後の審判」から生命の判定まで

岡田温司

対論 判定の思想をめぐって

岡田温司×檜垣立哉

対論を終えて

檜垣立哉

#### II 揺れる法廷? ——メディア・言葉・心理

裁判員制度における判定

藤田政博

「言葉」から見た裁判員制度

堀田秀吾

裁判員制度における判定の論理

山口 進

討議 裁判員制度における〈判定〉をめぐって 藤田政博×堀田秀吾×山口 進

#### III スポーツにおける判定をめぐって

近代スポーツの終焉?

稲垣正浩

討議 スポーツの危機?/判定の危機?

稲垣正浩×吉岡 洋

#### IV 記号論の諸相

杜鵑(ほととぎす)の聞き方——「リヒト」バッシングの分析

木戸敏郎

自然的記号と対称性——自然科学におけるシンメトリー

坂本秀人

ミラン・クンデラの『冗談』とファウスト・モチーフの関係性

渡辺 青

——数字と名前のシンボル分析

岡安裕介

折口信夫の言語伝承考

# 新曜社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-9 第一丸三ビル3F

TEL 03-3264-4973 (代表) FAX 03-3239-2958

申し込み

#### ご注文と代金の支払い方法

下記に記入の上、F A Xにて申し込んでください。メールでのご注文もお受けします。氏名、住所(送り先)、連絡先(電話)をお忘れなくお願いします。

代金は、本と一緒に振込先案内を同封しますので、2週間以内にお支払いください。

「『ひとはなぜ裁きたがるのか』—判定の記号論—」  冊申し込みます。

購入F A X番号 03-3239-2958

E-mail: uozumi@shin-yo-sha.co.jp

担当:魚住(うおずみ)

お名前	フリガナ	電話	
ご住所	〒	FAX	
		E-mail	

計  円

受付日